

少子化・人口減少→稼ぐ町をめざしています。

お金も大切だけど生命・山河を大切にしたい。

現在の嵐山町の政策・・・成長政策

人口減で、各自治体、転入者の引っ張り合い

転入者が増える⇒キャッチコピー「日本1の教育の町に」



○県国の補助金交付決定で嵐山町の政策が決まっていきます。

市町村競争を勝ち抜いています。【県会議員・国会議員の橋渡しが有利？】

国・県補助金申請で交付 OK 確実。



議案提案 議員は賛成か反対のみ

お金の決定権が国にあるので

国に従う町政です。

■観光でお金を稼ぐ・・・

■稼ぐ町に投資する税金から、町で暮らす人が幸せになるため使う税金に、流れを変えるにはどうするか。
建設費の国補助金も将来支払う借金も税金です。

■どうしようもない人口減少社会。

- ・嵐山町のお金を稼ぐ政策は、町外の人が入ってくることを前提とし、整備を進めています。
- ・地域のお金を無駄に外に出さないことも大切。
- ・ふだんの生活の安心が優先です。
- ・将来の財源不足に対応できる政策にすべきです。

川の再生・千年の苑(10畝)ラベンダー畑建設・杉山城跡の整備・駅西口整備

■企業誘致でお金を稼ぐ・・・花見台工業団地の拡張(エコ計画隣接の山林の造成 10畝)

H27年 ふるさと創造資金(埼玉県より)

○武蔵嵐山駅東西連絡通路の改修 嵐山町の観光名所写真が壁面を飾りました

7919万円(県補助金2500万、借入5240万円)請負業者 東武谷内田((株)東松山営業所

○川の丸ごと再生事業 嵐山溪谷整備・駐車場など

H27 2208万円(県補助金1000万円・1230万円)

H28 6126万円(県補助金2900万円・借入2900万円)

H28年 地方創生加速化交付金より

○千年の苑「ラベンダー畑」 うどん「めんこ6」開発

千年の苑<<ラベンダー畑>>軌道にのるように

H28~31 町事業・ H32 以降独立運営へ

H28 計画策定 200万円

補助金 1523万円を 千年の苑事業推進協議会へ (苗・土地(賃借・購入))

H29 具体的計画策定 238万円・協議会補助金 2995万円(手芸館建設・転落防止柵)

H30 推進員 288万円・ 計画策定 470万円
工事費 ラベンダー畑を見る展望橋

2637万円

協議会補助金 2580万円

H28 ~30 概算 1億931万円

(うち国補助金 6680万円 借入1180円)



